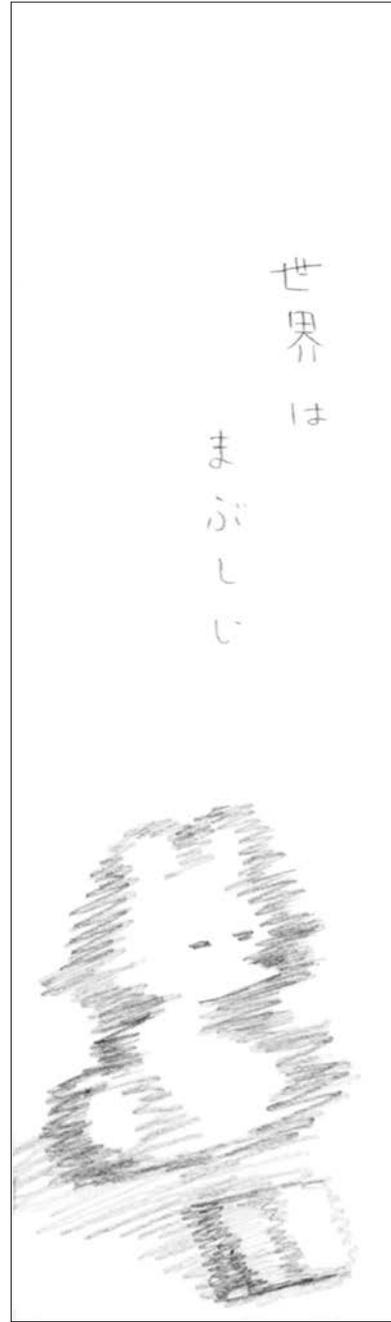


001

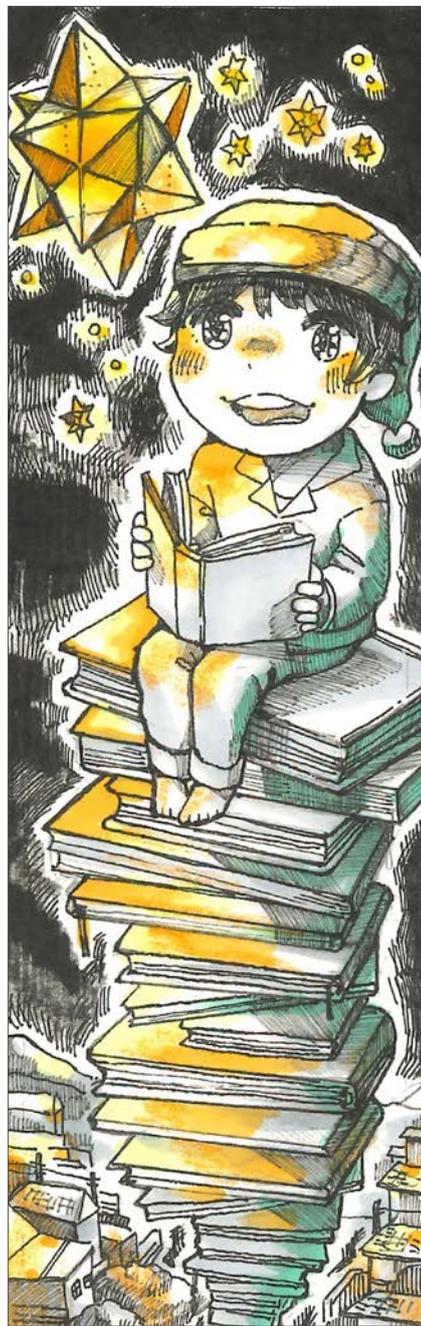
宮嶋和貴子

[油絵学科 4年]



ひかり

本を読むと架空の世界に行けたり知らない世界を知ることができて好きです。色々な分野の人の想いがつまったものを自分のペースで読めるところもいいなと思っています。想いを光にたとえて光を見るイメージで制作しました。



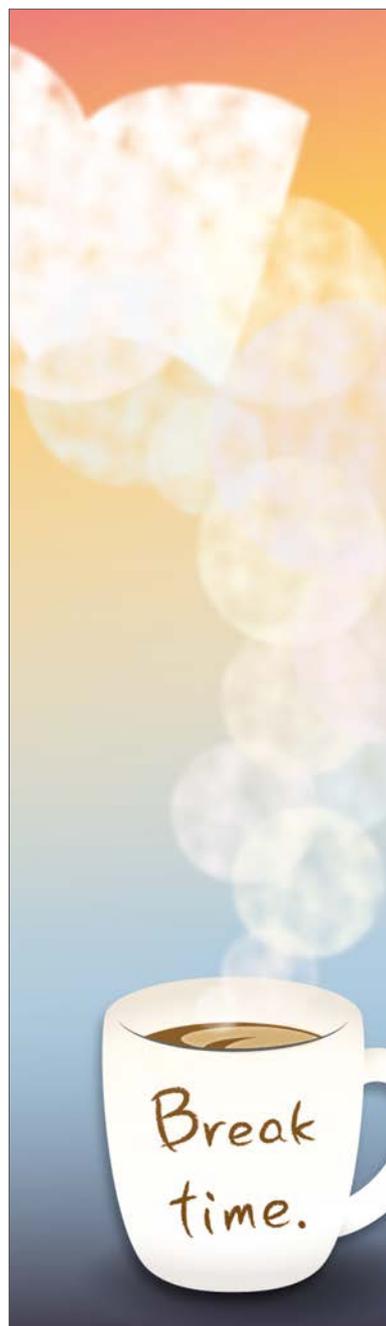
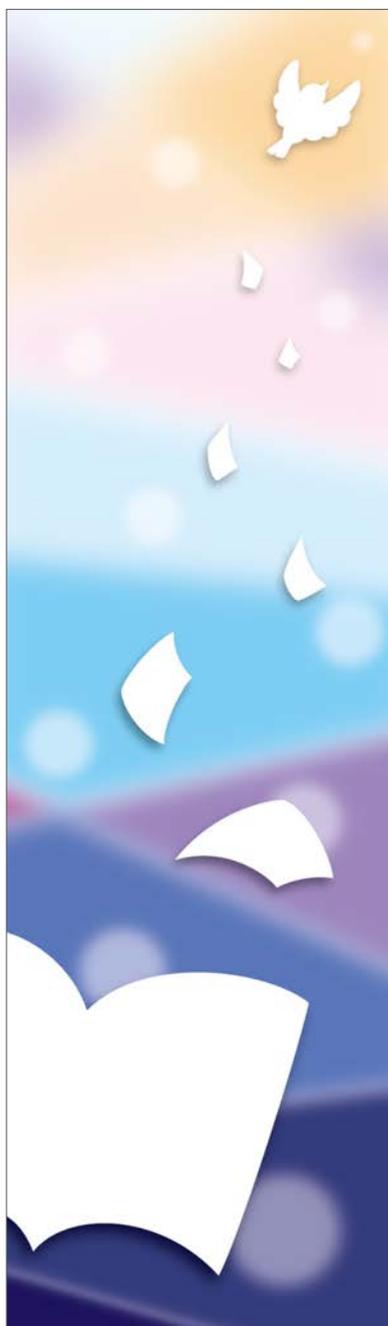
魔法の時間

本は魔法だ。幼い頃、眠い目をこすりながら夢中で読んだ時間は、今でも記憶の中に光を優しく灯している。そして大人になっても本は、いつだって魔法のような場所に私を連れ去ってくれる。

003

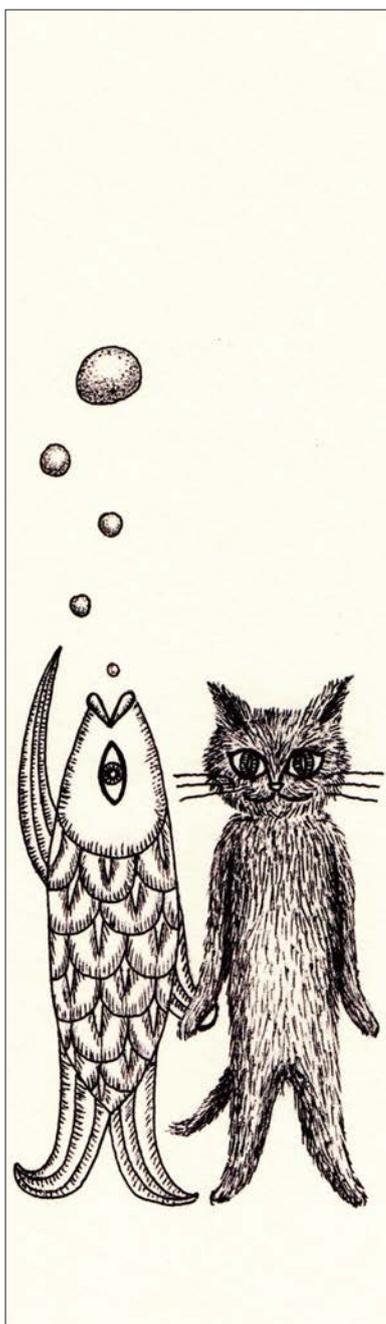
茅根悠子

[デザイン情報学科 4年]



ひととき

本の世界にふっと入り込む「ひととき」と本を読む間のほっとする「ひととき」を表現しました。読んでいる本にしおりを挟む「ひととき」を彩れるようなデザインを描きました。



種の壁

想いや精神力、そういう目に見えない大きな力が
不可能を可能にすることだってあるかもしれない。

005

遠野こづき

[基礎デザイン学科 2年]



灯火

挟んだ場所をしおりが照らしているイメージです。
本を読んだ時のきらめき、温かさ、儂さを表現しました。



HOT times

それぞれが好きな飲み物を飲みながら読書をするような、「くつろげる時間」をイメージして制作しました。私自身にとっても、温かい飲み物を飲みながら読書できる時間は、日常的に作ることができる至福の時間です。本を開いたときにホッとできるような色合いや、線を用いました。

007

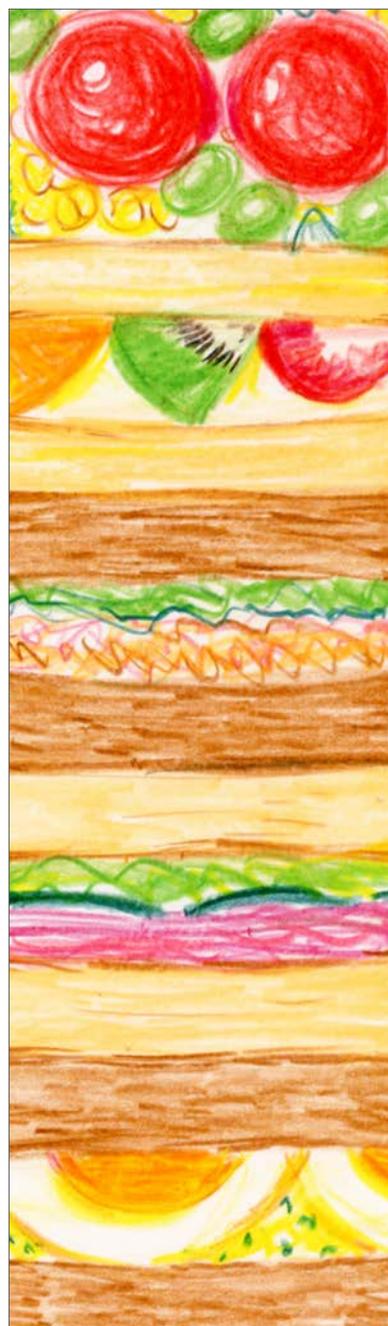
shimizu sayaka

[基礎デザイン学科]



夏のあさ

多重露光写真が好きで、夏らしいイメージの涼しげなしおりが作れたらなと思い、製作しました。No.1（左）は家の前の桜の木に凜々しげに止まっていた鳩で、No.2（右）の足は私の足です。あまり可愛すぎず、かといってかしこまらず、多くの人の目に止まるしおりができたと思います。



今日のお昼、昨日のお昼

毎日娘たちに作るお弁当・カバンに入れやすい細長いお弁当箱です。上から見るとしおりのかたち。昨日は定番鮭弁当。今日はがんばってフルーツサンドを作ってサンドイッチ弁当です。



ここまです。

ここから、



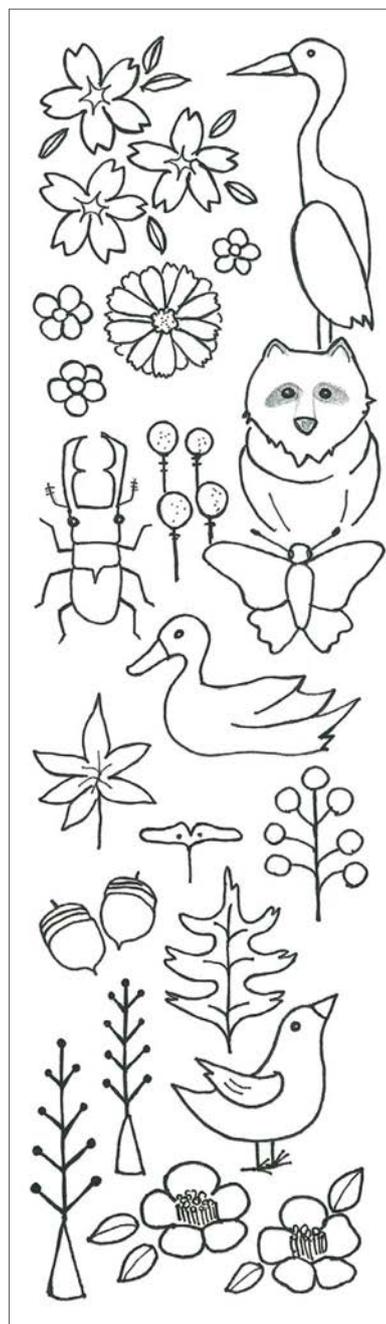
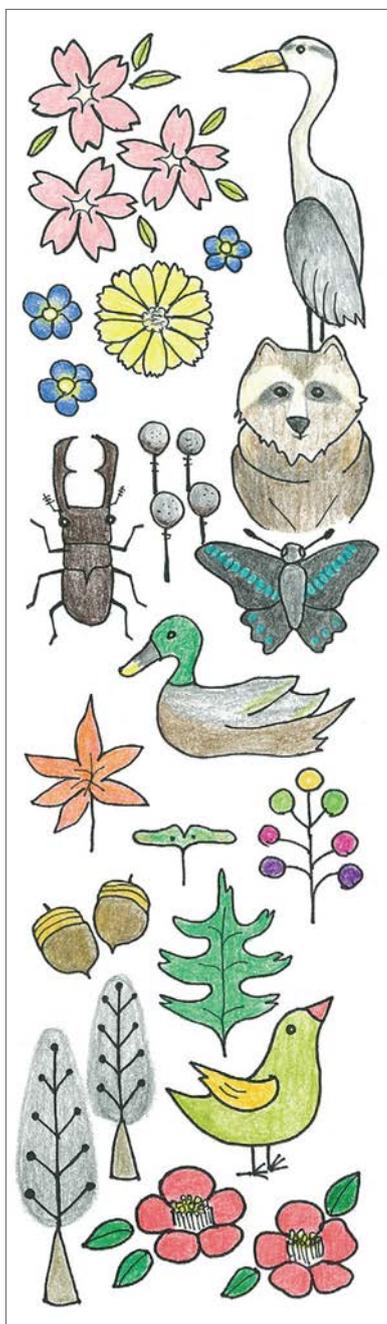
どこから

本を開き、閉じる。そしてまた開く。

「あゝ残念ここまで」

「どこまで読んだっけ？」

面白い本を読んでいる時のシンプルな気持ちを、しおりにしました。



いきもの ハルナツアキフユ

四季のいきもの達を本にはさんで連れて歩けるように、ポップなデザインのしおりにしました。塗り絵あそびも楽しんで頂けるように、線画のバージョンも作りました。



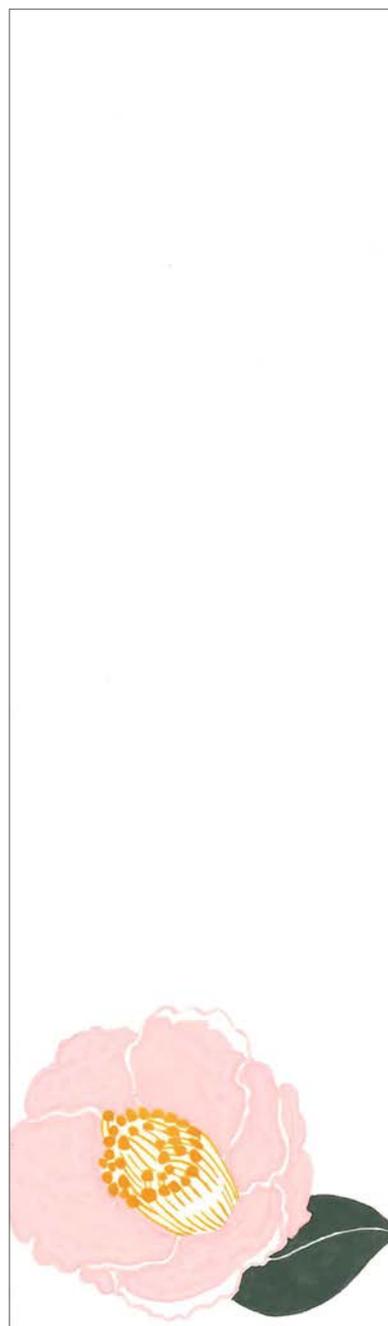
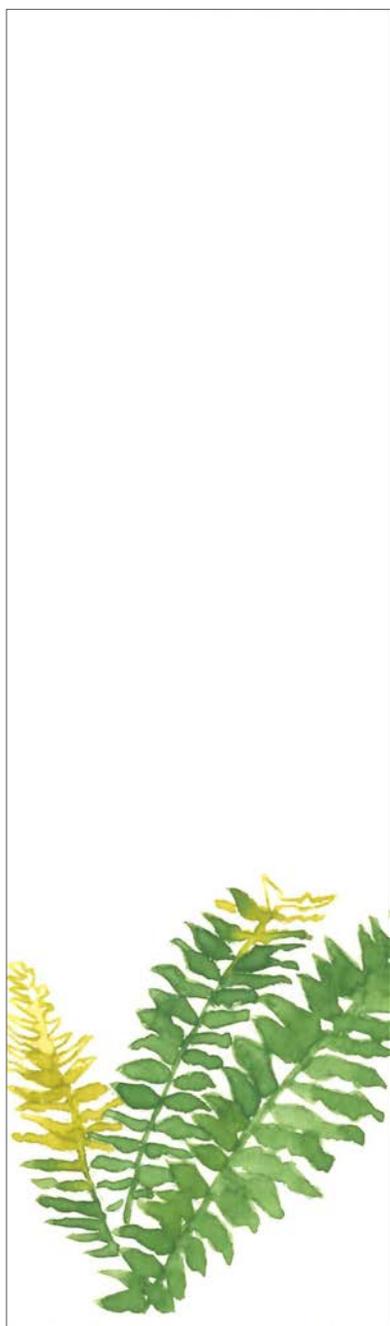
私のそばに |

しおりの頭に、どうしてしおりを挟んだか、一目でわかるよう "keep" "off" を入れました。

012

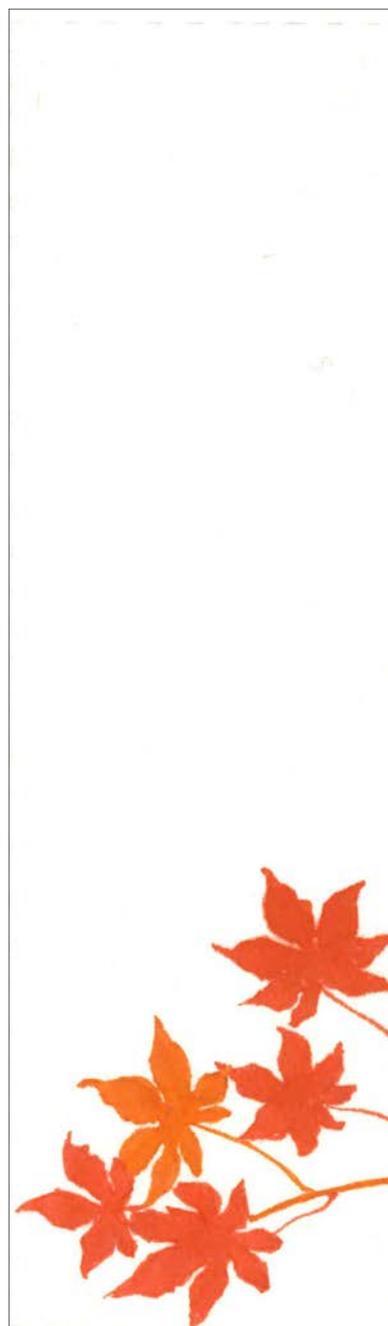
U子

[卒業生・短期大学芸能デザイン科]



私のそばに II

小さな自然のしおりを挟むことでもう一度熟読できる雰囲気づくりにもっていきたい。



私のそばに III

小さな自然のしおりを挟むことでもう一度熟読できる雰囲気づくりにもっていきたい。